

平成30年3月 労務単価

国土交通省は16日、3月から適用する「工事設計労務単価」を公表しました。原則として4月1日となっている改定のタイミングを30年度も前倒。全国の全職種平均(単純平均化)の伸び率は前年度比で2.8%上昇。京都府では前年度と比較できる44職種単純平均で1.01%程度。新労務単価は、社会保険への加入を徹底させる観点から、必要となる法定福利費相当額を加味させた格好で、労働市場の実勢価格を反映させ、公共工事の円滑な執行に万全の体制を敷く予定です。

京都府の44職種平均
1.01%上昇



全国の全職種平均(前年度比)
2.8%上昇

技能労働者の多い主要な12職種

・交通誘導員B 3.7%増	・とび 2.6%増	その他
・交通誘導員A 3.6%増	・大工 2.6%増	・造園工 2.1%増
・軽作業員 3%増	・左官 2.6%増	・電工 2%増
・運転手(一般) 2.8%増	・鉄筋工 2.6%増	・配管工 2.4%増
・運転手(特殊) 2.8%増	・型枠工 2.6%増	
・特殊作業員 2.8%増		
・普通作業員 2.7%増		

平成30年4月1日 経審改正

国土交通省は、4月1日の経営事項審査改正に伴い、直轄工事における競争参加資格の再認定申請を受付開始。改正後の審査基準で総合評定値を取得し、再認定を希望する有資格者を対象に、4月1日から9月30日に申請を受付。申請後1ヶ月から1ヶ月半で手続きを終了します。

経審改正の内容について

(1)W評点(その他社会性等評点)のボトムの撤廃

W評点の計算値がマイナスの場合、0点としていましたが、マイナス点をそのまま評点に反映。この結果、W評点の最低点は、「0点」→「-1,995点」へと変わります。

(2)防災活動への貢献状況の加点幅の拡大

建設業者の「地域の守り手」としての役割の評価を拡大します。この結果、防災協定の締結の評点が「15点」→「20点」へと変わります。

(3)防災活動への貢献状況の加点幅の拡大

少ない保有台数でも評点が高くなるように評点テーブルが変更されます。

申請は、大臣官房会計課、地方整備局、地方運輸局、北海道開発局などで受け付けます。

再認定は、既に認定を受け付けで競争参加資格を申請する場合は、改正前・改正後のどちらかの総合評定値でも申請が認められます。

ICT施工「ものづくり補助金」

ICT施工の設備投資にも活用できる「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」(ものづくり補助金)の申請受付が始まります。中小企業庁が2017年度補正予算に1000億円を確保した同補助金は、生産性を高める設備投資を後押しするもの。ICT施工関連でも、ICT測量機器、ICT関連ソフトウェア、後付けマシンガイダンス(MG)などの購入費に充てることができます。

- 1. 企業間データ活用型**：複数の連携体全体新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援。(補助上限額：1,000万円/者(※)、補助率：2/3)
- 2. 一般型**：中小企業・小規模事業者必要な設備投資等を支援。(補助上限額：1,000万円、補助率2/3)
- 3. 小規模型**：小規模な額で中小企業・小規模事業者革新的なサービス開発・試作品開発・生産性プロセスの改善を支援。(補助上限額：500万円、補助率：小規模事業者2/3、その他1/2)

○期日：平成30年2月28日(水)～平成30年4月27日(金)

助成金と補助金について

◆人材育成に関する助成金

名称	人材開発女性支援金	建設労働者確保育成助成金
対象	全業種・全職種	建設業労働者
内容	社員の能力開発のために訓練(業務に必要な専門知識)を受講させた事業主団体	労働者に技能講習を受講させた建設事業主団体

利用申請する前段階として、以下の3種類の職業能力開発計画を作成しておかれると便利です。

- ①「経営理念や経営方針に基づく人材育成の基本方針」
- ②「人事考課に関する事項」
- ③「各職務に必要な能力や教育体系図」

◆設備投資に関する助成金

名称	中小企業や小規模事業所	
対象	※IT導入補助金	ものづくり補助金
内容	業務効率化のために導入したITツールや、登録されているサービスやクラウド利用費に適用	試作品や新商品の開発、新サービス導入にかかった設備投資費や原材料費、人件費などに適用

経営力向上のための人材育成や財務管理、設備投資などの取組を記載した「経営力向上計画」を申請し、認定されることで補助金の可能性が広がります。

※間もなくIT導入補助金の募集が開始！

※詳しくは京都サンダーまでお問い合わせください。

京都サンダー講座のご案内 ～3回シリーズ～

技術者向け CPDSセミナー開催のお知らせ

現場担当者向けCPDSセミナーを開催いたします。3回シリーズですが、1回からのご参加も可能です。ぜひご参加ください！

◆ 第1回 5月11日(金)

「建設現場の若手職員定着に向けたリーダーシップセミナー」

- ・建設業における若手職員の離職の現状
- ・建設業の担い手に必要な技術
- ・技術指導・継承に必要なリーダーシップ

当研修では経営層や人事採用担当者、現場リーダーを対象に若手職員への技術指導に必要なリーダーシップや指導のありかたをメインテーマに設定し、どのようなことを理解し、どのように指示を出すことが成果につながるかを解説。

◆ 第2回 7月4日(水)

「工事成績評定アップ対策セミナー」

- ・請負工事成績評定要領について
- ・創意工夫、地元対策(事例紹介)
- ・発注者とのコミュニケーション
- ・全社的な取組みによる工事評定向上

工事成績評定の最新の状況などを説明した上で、実際に工事成績アップにつながった取り組みのポイントを解説。発注者や高得点を獲得した請負者へのヒアリングなども踏まえた豊富な事例解説。

◆ 第3回 8月24日(金)

「現場代理人に求められる折衝力強化セミナー」

- ・現場代理人に必要なプレゼンテーション能力
- ・発注者との折衝(設計変更事例紹介)
- ・協力業者との折衝(見積条件、契約変更)

現場代理人に必要な技術提案などをはじめとする折衝能力、特にプレゼンテーション能力、設計交渉についてレクチャー及び演習により実践的な対応力の事例を紹介。

対象:建設業に従事する技術者向けセミナー
会場:京都テルサ(京都市南区東九条下殿町70番地)
先着:50名(先着受付順)
時間:9:30~12:00、13:00~17:00(6.5時間)

10% OFF

3回一括申込み
合計 ¥29,160
(税込み)

5% OFF

2回一括申込み
合計 ¥20,520
(税込み)

ひと講座

各回申込み
合計 ¥10,800
(税込み)

【講師】東 和博 氏(株式会社ランパス 代表取締役)
大阪大学工学部土木工学学科卒、大学院修了。西松建設株式会社勤務を経て建設業コンサルティング、研修会社(株)ランパスを設立。建設部門の技術士。

HPよりお申込みいただけます！詳しくは京都サンダーまで

建設ディレクター®育成講座

現場とオフィスで
ITスキルとコミュニケーションスキルでつなぎ・支える

建設業の新しいはたらき方 建設ディレクター

建設業のオフィスで働く女性たちが、ITスキルとコミュニケーションスキルを習得することで、建設業の働き方が変わります。建設ディレクターと現場技術者がIoTでリアルタイムに、そして双方向につながります。現場担当者にとっては書類作成や写真整理、CAD、積算などの業務サポートによって、長時間労働の解消を目指します。経営者の理解のもと、次世代の建設業を支える新しいはたらき方を目指します。



修了生の皆さま、ご活躍中です！★★

▶ 第4期 建設ディレクター®育成講座 開講予定

- 【対象】:建設業に従事する若年層、女性社員
- 【受講形式】:座学(パソコンを使った実技・演習含む)
- 【日程】:5月23日(水) 開講予定
毎週水曜日 全10回
- 【時間】:10:00~12:00、13:00~17:00
- 【定員】:15名
- 【場所】:京都サンダー株式会社2F
セミナールーム(京都市上京区)
- 【助成金】:厚労省の助成金を活用できます
- 【内容】:建設ディレクター育成講座

詳細はホームページをご覧ください。



<https://www.knowledgebx.com/kensetsu-director>

レポート 国土交通省 3月1日開催 建設産業女性活躍セミナー全国大会

建設産業女性活躍推進セミナー全国大会に参加しました。参加者は約200名ほど。パネルディスカッション「建設業における女性活躍の加速化について」での議論は白熱したものとなりました。

